

平成 29 年度 社会福祉法人花水木会事業報告

花水木会は、基本理念・運営方針を基に事業計画を計画的に推進し、地域社会における福祉サービス提供の拠点として地域福祉のニーズに応えるべく、民間施設の特性を生かした社会福祉事業の特性を公共性・自主性・信頼性を大切にし、地域に根ざした施設づくりに努力した。施設運営においても、職員の英知を各種研修で育てながら無理無駄を無くし、平成 29 年度は、次のとおり事業を実施した。

1.理事会・定時評議員会の開催

・理事会・定時評議員会

：第 1 回理事会（平成 29 年 6 月 2 日）

- ・平成 28 年度事業報告について
- ・平成 28 年度決算報告について
- ・理事・監事候補者の選出について
- ・定時評議員会の日時・場所・議案の決定
- ・社会福祉充実計画について

：第 2 回理事会 理事長の選定（定時評議員会直後 6 月 20 日午後 7 時）

：定時評議員会（平成 29 年 6 月 20 日午後 6 時 15 分）

- ・平成 28 年度事業報告及び決算報告の承認。
- ・理事・監事の選任。
- ・報告事項 社会福祉充実計画について

：第 3 回理事会（平成 29 年 9 月 29 日）

- ・個人情報取扱規程の改正
- ・給与規程の改正
- ・育児介護休業等に関する規程の改正
- ・評議員選任・解任委員の選任
- ・職務執行状況報告
- ・ハラスメントの防止に関する規程
- ・報告事項 施設内冷暖房機器、室内照明機器の改修工事

：第 4 回理事会（平成 30 年 3 月 29 日）

- ・平成 29 年度補正予算
- ・平成 30 年度事業計画
- ・平成 30 年度予 算
- ・就業規則の一部改正
- ・理事長の業務執行状況報告

3、通所介護事業 あかつきの郷の経営

民間企業としての経営をベースに非営利事業としてサービスを必要とする人が安心して利用して頂ける介護の充実を目指して、職員の日々の研鑽や施設外研修参加を実施してきたが、市内には多数の介護サービス事業所が存在することによる利用者の分散の中において、平成 29 年 4 月から 9 月の前期は利用者 3,370 名 1 ヶ月平均 561 名で昨年度同時期とほぼ変わりなく推移し、後期は、2,804 名の計 6,174 名の利用があった。

平均年齢が 86.3 歳と高齢であり最高齢者は 106 歳と高齢であり、長期入院者や老健

等の利用の中、相談員等による居宅支援事業所への広報活動等による増加で前期 9名、後期 6名の 15名が新規利用となったが退所等（特老 4名・老健等入所 5名・死亡 7名）が 16名減となり実質 1名の減となった。又、施設経営については、創設以来の空調設備・電気設備の改修による省エネ化を図り、より以上の日常の無理無駄を職員一丸となって再考し、固定経費の削減に努力を傾注。さらに全体の仕事の効率化を推進すると共に職員に対する福利厚生にも傾注し、職員が安心して働きがいのある施設経営につとめた。

4、居宅介護支援事業の経営

居宅支援事業は、介護支援専門員 1名を配置し、利用者の意向を基本ベースに公平・公正・平等を基本理念に利用者・家族に適したケアプランを作成し、利用者・家族が安心して介護サービスを利用できるよう支援した。

29年度は、新規 14名で死亡 7名、施設・特老入所の解約 4名のとなり 3月末で 32名の利用となった。

5、社会貢献事業

「公益的取組の推進」

- ・社会福祉法人等による生活困窮者に対する利用料減免の実施（1名）

「行政との連携・協力の促進」

- ・広域避難所として行政と連携して緊急時に備えた。
- ・子供 110番避難所として地域小学校と連携して緊急時に備え、帰宅時の天候異変の一時避難やトイレ利用に協力を行った。
- ・行政からの各種要請に対する柔軟な対応・協力の実施
- ・市内中学校の社会体験研修・近江八幡市立看護学校生の実習研修生の受け入れを実施した。（西中学校 4名・東中学校 4名・看護学生 14名）

6. 「地域福祉の推進」

- ・地域の老人会等に向けた研修会の講演や健康チェック等、看護師を派遣して地域の老人会の集まり時に実施し、施設を理解を深め、又ボランティアとの定期的交流会の開催に昼間独居の地域老人に施設に参加して頂き理解を深め、地域の中における施設理解の促進や地域とのつながりの構築をきづいてきた。
- ・ボランティアとの定期的交流会の開催

7. 施設及び生活環境の整備

利用者が快適な環境で一日を過ごされるため次のことに留意し努力を行った。

- ① 施設備品の保全並びに環境美化
- ② トイレ・浴室・厨房等の清潔・整理整頓の実施
- ③ 利用者身辺の清潔保持
- ④ 疥癬・MRSA・インフルエンザ・ノロウイルス・感染性胃腸炎等感染症予防対策の周知徹底及び食中毒防止の徹底
- ⑤ 冷暖房機器の改修及び照明機器の改修（LED化）

8. 防火・防災訓練

消火設備・防火用機器等の定期点検及び整備を実施し、火災発生及び天災地変に備えての年1回以上の避難誘導訓練及び消火訓練等を実施して、不測の非常事態に即時対応できる体制の整備と周知徹底に努め、又、東日本大震災における経験を生かし減災に努めた。

- ・消火訓練・避難誘導訓練（平成29年12月20日15:00～15:30）
- ・消火訓練・避難誘導訓練（平成30年3月15日15:00～15:30）

6.職員の役割

「福祉は人なり 人は質なり」と言われるとおり、資質も力量も共に高いパワーの確保が重要であり、その為には利用者の個別ケアについて理解ある態度で臨み、職員の役割分担を定めるとともに職員の創意工夫や発想の転換が生かせる職場環境や研修並びに実務訓練の充実と専門性を身に付ける資格取得に努めた。

- ①施設内介護実務研修の実施（必要に応じ随時実施）
- ②施設外の職員研修の参加（別紙1）
- ③資格取得の助成と支援（介護福祉士1名・認知症介護実践研修1名）
（介護職員初任者研修・実務者研修・介護福祉士・社会福祉士・社会福祉主事・介護支援専門員・認知症介護実践研修等）

7、広報活動

- ①広報「あかつきの郷」を毎月1日に発行し、家族、地域等に広く広報する。
- ②あかつきの郷ホームページの充実

8、予算及び資金計画

施設運営の基となる収支予算の編成及び執行。資金の計画にあっては、計画性並びに健全性に留意し、関係法令を遵守し適正かつ効率的な処理に努める。

9、事業内容

通所介護事業(デイサービスセンター)

- ・通所介護計画に基づいた一人ひとりの状態にあった個別ケアの提供とアセスメントの実施
- ・7～9時間のサービスの提供(個別に短時間の利用も対応)
- ・個々のニーズに合った活動メニューの充実と備品の整備。
- ・四季を通じ季節感あるレクリエーション・行事の実施（別紙1）
- ・機能訓練を重要視した集団レクの充実と個別の趣味を生かしたグループレクの充実
- ・利用者の安全対策の徹底(トイレ・入浴等移動時のマンツーマンでの対応)
- ・ミーティングの充実による情報の共有
- ・お好み焼き、たこ焼き作り等を利用者と職員が一緒に行い参加と食欲の向上と役割意識の向上
- ・米飯をおいしく召し上がっていただくよう炊き込みご飯、白ごはんを施設内で昔ながらの「かまど」を作り割木で炊飯する(2～3ヶ月に1回)
- ・アクティビティーの充実・ケアレベルの標準化に向けた職員の育成

